



市場小だより

令和
4年度

学校教育目標「健康で明るく 強く正しく 共に生きぬく子の育成」 特別号

令和5年2月28日 小野市立市場小学校

学校評価の結果について(ご報告)

学校長

梅の花がほころび 春の香りを届けています。先般、保護者の皆様に本校の教育活動についての評価をいただきました。ご協力いただき、たいへんありがとうございました。ここに結果をまとめましたので紙面にて報告いたします。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組みながらもほぼ予定の教育活動を行えた一年間でした。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげです。感謝申し上げます。同時に実施しました児童アンケート・教職員の自己評価と共に概ね肯定的で前向きなご意見をいただいております。皆様のご意見等を参考に、さらなる取り組みを工夫し今後の活動に生かしてまいります。

【アンケート結果について】

※評価 Aそう思う Bどちらかといえばそう思う Cあまりそう思わない Dそう思わない のうち、

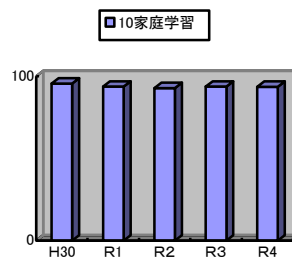
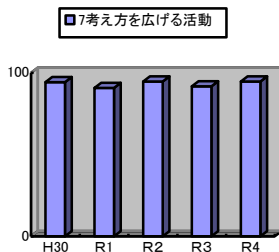
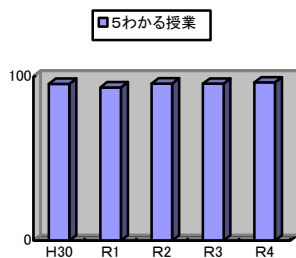
AとBの評価を合計した数値(%)を達成率として表示しています。

【学習について】

※児童アンケートより

アンケート項目	H30	R1	R2	R3	R4
5学習内容は理解できていますか。	95.3	93.1	95.5	95.4	96.2
7水辺の楽校、夢をかなえる科、外国語活動、辞書引き学習など意欲的に。	94.3	90.7	94.7	91.7	94.7
8修学旅行、自然学校、社会見学、学校行事等の体験活動は楽しいですか。	98.0	97.9	96.8	97.9	97.3
10宿題などの家庭学習は進んでできていますか。	95.5	93.6	92.8	93.6	93.5

○「わかる授業」「考え方を広げる活動」「体験学習」「家庭学習」などに児童の達成感が見られます。脳科学の知見に基づき、水辺の楽校・辞書引き・夢をかなえる科などの特色ある取り組みにより、言語力や考える力に繋がっています。また外国語活動もこれまでの積み重ねにより、発展的な活動が見られます。修学旅行や自然学校、運動会など、ともに学ぶ体験学習・行事として積極的に取り組んできました。「マイスタノート」での自主的な家庭学習や宿題の見直しをはかりながら、少人数指導・同室補助、対話的な集団指導を兼ねあわせ、児童の考えを大切に授業作りに取り組めます。自ら質問できる力をつけ、児童のつまずきの解消や系統性を重視した指導の充実を図っていきます。



【学校生活について】

※児童アンケートより

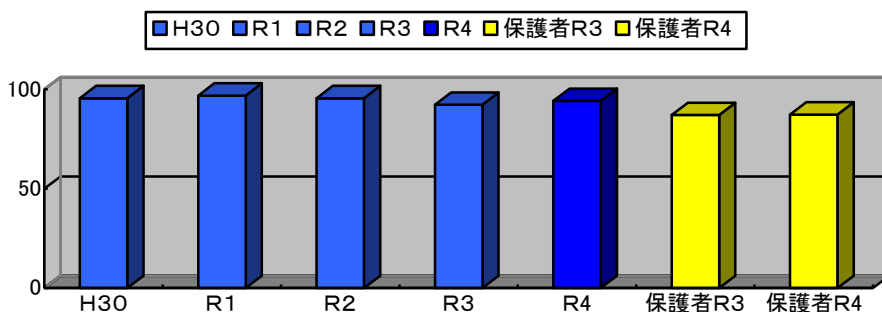
アンケート項目	H30	R1	R2	R3	R4
1 学校生活は楽しいですか。	94.0	92.3	88.3	94.1	94.4
9 わからないことがある時や困った時には先生に伝えていますか。	87.8	86.4	91.2	85.3	83.9

○「楽しい学校生活」は日頃の生活や授業をはじめとして、児童会活動・学校行事・学年行事・体験的な学習にも取り組みました。学校教育目標の「健康で明るく」活気あふれる集団作りとしてこれからも推進していきます。相談しやすい関係づくりを心がけ、ふだんの学校生活でより良い人間関係を作り、お互いに楽しいと思える環境作りをめざしていきます。

※児童・保護者アンケートより

アンケート項目	H30	R1	R2	R3	R4	保護者R4
3 あいさつをよくしていますか。	95.5	96.8	95.5	92.2	94.1	87.3

○児童会活動として全校生による朝のあいさつ運動に取り組み、「自分から」「相手に伝わる声で」「明るく元気に」を目指しています。保護者の方からも期待されている地域の方々へのあいさつに自信を持って広がっていくように取り組んでいきます。



【人権教育・感染予防・安全教育について】

※児童アンケートより

アンケート項目	H30	R1	R2	R3	R4
12 友だちに優しく思いやりのある行動をしていますか。	93.8	95.5	94.3	93.1	94.7
17 感染予防はできていますか。(検温・消毒・マスク・距離)			93.1	89.6	91.2
14 交通ルールや学校のきまりを守り、安全な登下校や学校のくらしができる。	98.5	97.3	96.0	96.8	96.4

○「人権教育」「感染予防」「安全教育」の意識は今年度も高いです。感染予防・対策も長期化して

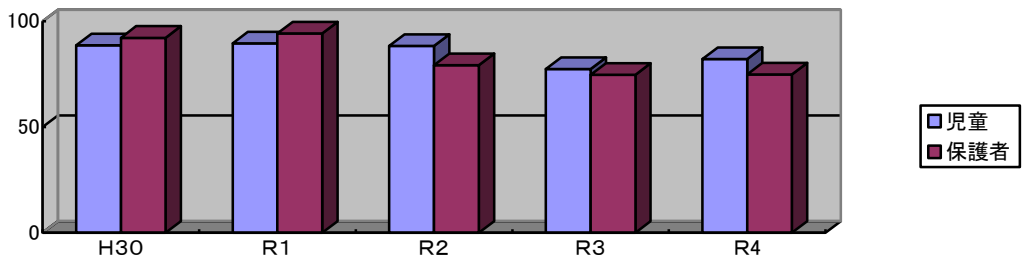
いますが、状況に応じて見直しながら継続して取り組んでいきます。「交通安全」に関しては、大切な命を守る教育活動として重視し、地域見守り隊の方々の協力の下、登校班としての安全意識の向上を中心にさらに指導していきたいと思います。

【情報機器の使用について】

※児童・保護者アンケートより

アンケート項目	H30	R1	R2	R3	R4
㊦16テレビ、ゲームやインターネット等の約束を守っていますか。	88.6	89.6	88.3	77.4	82.1
㊦16子どもはテレビやゲーム、インターネット、スマホ等の約束を守っている。	92.2	94.2	79.2	74.7	74.8

※H30 R1は「約束を決めていますか。」とたずねていました。



○「情報機器の使用の約束・徹底」については、令和2年度から「約束を守っている」かどうかをたずねています。今年度は「家庭でのルールづくり・話し合い」で子ども自身がしっかり考える機会とすることや、「ゲーム・ネット等の使用についての学習」の機会を充実させる取り組みを行ってきました。「家庭でのルールづくり」が意識でき、児童自身に「約束を守る意識」の回復が見られますが、さらに改善を目指して継続して取り組んでいく必要性を感じています。

【学校と家庭の連携・児童の指導について】

※児童・保護者アンケートより

アンケート項目	H30	R1	R2	R3	R4
㊦13学校であったことを家庭で話している。	88.3	87.2	85.3	83.9	84.7
㊦13A子どもは学校のことをお家でよく話してくれる。				83.0	82.9
㊦13B学校は情報発信や家庭との連携に努めている。	94.3	95.3	95.8	94.8	94.2
㊦15先生や友だちの注意をすなおに聞いている。	94.5	95.4	92.8	96.5	92.9
㊦15学校は子どもの間違っただ行動をきちんと指導している。	97.8	94.8	95.5	95.1	96.2

○今年も学校での出来事を話す機会が少ない傾向が見られます。時間を作って、子どもたちの頑張りを家庭での話題として増やしていただけたらと思います。3学期から始めた「読書の日」には、ぜひ会話の時間も増やしていただければと思います。学年・学校だより、HP、連絡帳等 情報発信も継続していきます。日頃の生活指導にもご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。子どもたちは失敗の中から学ぶこともあります、その度に自分と向き合い、相手の気持ちを考えた思いやりある言動につながるよう、自立心を育てていきたいと考えます。

【保護者の方から】

【子どもたちが成長したと感じられる点】

・あいさつが自分から大きな声で言えるようになりました。・いそしまんに1日の振り返りを書いて
いるのが、今日一日の中でできたこと、できなかったことがわかって自分の一日の振り返りができ
て、とてもいいことだと思っています。・マスクや検温など、毎日頑張っているなど感じます。・元
気に真面目に礼儀正しくできていると思う。・マイスタなどが定着し、勉強以外にも興味のあることを
自分で調べるようになったと思います。低学年のうちは大変ですがいい取り組みだと思ひます。

【子どもたちの家庭や学校生活の様子について日頃感じていること】

・クラス皆でお互いを想いやる事(協力して行動するような)が出来るような行事を少しでも増やし
ただけければいいなと思ひます。・音楽会を生で観ることができてとても嬉しかったです。とても
感動しました。合唱も聞きたいです。・宿題が主体的ではなく「～せねばならない」させられる学習
になっていて自分達の探求したいことをする時間について親子で考える時間がないのが現状で
す。



本年度の保護者アンケートの回収率は99%でした。すべてはご紹介できませんが、ご意見にも
本校教育への期待と関心の高さを感じております。ご協力ありがとうございました。

「学校の話をついつも楽しそうにしてくれます。先生の話、友達の話を聞いてとても嬉しい気持ちに
なります。」「登下校の指導や挨拶、脳科学に基づいた生活指導はとてもありがたいです。」など一
定の評価をいただいています。ありがとうございます。また、検討課題となる意見もいただいでい
ます。真摯に受け止め、今後の教育活動に生かして参ります。

「情報機器の使用について」は、これからも市場小学校の課題の一つとして受け止めていきます。
GIGAスクール構想のもと、「脳を働かせるしくみ」を重視した情報機器の使用についての正しい
理解に取り組んでいきたいと思ひます。

「学校と家庭の連携・児童の指導について」は、子どもたちとの関係作りやコミュニケーションの
大切さを重視し、創造活動や集団活動を通して自分も相手も大切にする体験になるよう取り組ん
でいきたいと思ひます。自分たちで考える生活の中から、子どもたちは何かを生み出し、成長する
可能性を持っています。その中で身につけていくものがどのような成長につながるのか楽しみで
す。それは数値などでは表せないものかもしれませんが、学力も含めた将来の社会的自立の基盤
になると信じます。

それぞれの分野で成果と課題を分析しこれからの取り組みを考えておりますが、根幹でつな
がっている部分があり、学校・家庭・地域の協力体制のもとに成り立っていくものと考えます。これか
ら課題を共有し、相互に連携を密にしながら子どもたちの成長を支えられるよう、今後とも地道
な改善を重ね努力してまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。